

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年02月08日

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	川崎市											
計画の目標	JR南武線については、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体交差化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調整等を進めている。こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の5駅（稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅）については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断のや安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,976	A	2,976	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値	最終目標値 (R8末)
1	稲田堤駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約28,000人/日を約4,000人/日に削減 稲田堤駅の乗降人員は約53,000人/日である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約28,000人/日であり、この踏切歩行者数を、自由通路および橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	28000人/日	人/日	4000人/日
2	久地駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約9,000人/日を約1,000人/日に削減 久地駅の乗降人員は約28,000人/日である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約9,000人/日であり、この踏切歩行者数を、自由通路および橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	9000人/日	人/日	1000人/日
3	中野島駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約19,000人/日を約3,000人/日に削減 中野島駅の乗降人員は約29,000人/日である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約19,000人/日であり、この踏切歩行者数を、自由通路および橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	19000人/日	人/日	3000人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
久地駅については、本計画期間内に自由通路及び橋上駅舎化に係る基本設計、実施設計を実施します。中野島駅については、本計画期間内に自由通路及び橋上駅舎化に係る基本設計、実施設計を実施します。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路等整備	川崎市						1,542	-	
	A13-002	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	橋上駅舎化整備	川崎市						1,164	-	
	A13-003	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	久地駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎化整備	川崎市						135	-	
	A13-004	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	中野島駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎化整備	川崎市						135	1.19	-
											小計						2,976		
											合計						2,976		